

ちょっと疲れた表情で、お家の方の顔を見つめるなりホッとした表情で、5年生が無事帰ってきました。5日間の**自然学校**、よくがんばりました。

家庭生活や学校生活の日常から離れ、自然学校という非日常の中で活動をしていると、普段の子どもたちの様子が普段以上に色濃く表れます。反対に、普段見ることのできなかつた一人一人の力を発見することもあります。聞く力、集中力、時間を守る力、相手を思いやる力、協力できる力、最後までがんばりぬく力、リーダーシップ、



わたしたち、5日間を通して、少したくましく、賢くなった！かな？これからも、努力すること、心と力を合わせることを大切にしようね。

前向きな姿勢……。再確認したこと、再発見したこと。だからこそ、自然学校は、非日常は大事なのだと思います。子どもたちの生活に潤いと勢いを与えるだけでなく、成長のための振り返りにもなっているなあと思いました。今できること、できていないことを子どもたちが自覚し、わたしたちが理解することで、これからすべきことがはっきりしてきます。

わたしの中で、明確に理解できたこと。5年生、前向きにがんばるすごい力を持っています。ただ、その力がバラバラの方を向いては、余計にバラバラを加速させてしまいます。その力をうまく結集させればすごい力を発揮できます。今はまだ、良き結集の中心が必要なようです。



力を合わせて、右・左……。



上手に漕げば水面を気持ちよく滑っていきます。全員、完漕！



海での活動を満喫しました。



夏休み前の朝会で**ラジオ体操**の練習をしました。体育担当が説明していましたが、ポイントは「動く・止まるにメリハリをつける」「伸ばす・曲げるをしっかりと意識してやる」ということのようにです。体育の時間にラジオ体操をしなくなって長くなります。なかなか上手にはできないと思いますが、決まった時間に起きて一日の生活のリズムをつくるにはよい活動だと思います。地域でのご支援をよろしくお願いいたします。